

モンゴル国家統計局 (NSO) の概要



ダバースーレン | Davaasuren Chultemjams

国連アジア太平洋統計研修所講師

■モンゴル国立大学統計学部学部長、世界銀行コンサルタント、モンゴル国家統計局長を経て現職。局長時代はアジア開発銀行、国際通貨基金、欧州統計局などと協力し、NSOの能力強化を図るとともに技術的基盤を築くことに力を注いだ。経済学博士。

1. はじめに

1924年、最初のモンゴル国憲法は内務省に統計部署を置くことを定めた。これがモンゴルにおける統計サービスの基礎であると考えられる。社会経済の発展の種々の段階を反映するために、モンゴルの統計は種々の任務を与えられてきた。

市場経済への移行、民間部門の急激な発展、新しい構造の経済・社会の構築は、統計システムに再編成を迫ることになった。新しい分野で統計が必要とされ、異なる概念、分類および方法が必要とされた。

過去15年間、モンゴルは政府統計の多くの分野で進歩を遂げた。すなわち、法制、データ収集、データ処理技術、統計組織・管理、提供、そして統計の多くの分野における国際基準の適用である。すべてこれらの成果は、モンゴル政府およびNSOの努力のみならず、多くの国際機関、外国、および専門家の仕事

の賜である。

それにもかかわらず、困難で、挑戦を要する多くの仕事はまだ残っている。

2. 国家統計局

モンゴルにおける国家統計の作成と編集は、集中でもなく分散でもなく、その中間である。

国家統計システム (NSS) の構成要素は次のとおりである。

- ・ 国家統計局 (NSO : National Statistical Office)、各県に設置された統計課、首都ウランバートルにおける統計部。
- ・ 特定統計の作成および編集に携わる中央銀行、財務省、およびその他の省庁など政府統計のその他の作成機関。これらは多くの場合、個々の行政事務に関連している。

NSOは、政策形成およびその実施の監視のために使われる広範な主要経済・社会統計に責任を持つ機関である。

(1) 法制

統計法はモンゴル国会によって1994年に承認され1997年および2004年と2度改正されている。改正統計法はNSOを議会直属の独立機関として設置し、我が国における統計活動のための十分な法的根拠を与えている。統計法は、NSOが客観的で信頼できる情報を作成し、データ秘匿を順守し、そしてすべての利用者に同等の接近を与えることを可能にしている。

統計法に従って、NSOはモンゴル国会の経済政策常任委員会によって監督されている。NSO局長は国会によって6年任期で任命される。次長はNSO局長によって任命される。局長はまた、当該地方長官の助言を考慮して、ウランバートル統計部長ならびに各県およびウランバートル各区統計課長を任命する。

NSOの統計活動は、年次および長期計画によって実施される。年次事業は主として「政府計画」および入手可能な財務資源を基に設定される。

(2) NSOの主要任務

①主要国家統計の作成

NSOは、社会経済および人口分野においてセンサスおよび統計調査を実施することにより、主要政府統計の主要作成機関となっている。

②統計活動の調整

NSOはモンゴルにおいて統計活動を調整することに責任を持つ。

③統計用語および分類の標準化

以下の分類および用語体系がモンゴルで使われている。すなわち、ISIC（国際標準産業分類）、CPC（中央生産物分類）、HS（調和システム）、COFOG（政府機能分類）、およびCOICOP（目的別個人消費分類）であり、ISICは1995年にすべての調査に導入され、CPCは2001年に導入された。

④政府統計の提供と刊行

NSOは、政策立案者、研究者、国際機関、企業、NGO、および公衆などの利用者に統計データを提供することに特別な配慮を払っている。定期的な記者発表と記者会見、刊行物、CD-ROM、オンライン提供、特別要請などの種々のデータ提供方法が使われている。

⑤統計における国際機関および外国との協力および関係の構築

国際協力事業には、2国間および多国間活動を含む。NSOは積極的に国際統計活動に参加している。すなわち、国際会議に参加するとともに主催もし、統計能力強化のために技術支援を受け、国際機関に統計データを提供する。

⑥統計研修の実施

NSOは研修所を持つ。これは、NSOおよびその地方事務所、ならびに各省庁からの多数の職員に対して国内で研修することに大いに役立っている。

(3) NSOの構造と組織上の諸側面

①NSO中央

現在のNSOは4部から構成されている。すなわち、

- ・ 管理部は、企画を担当し、人事・庁舎を管理し、地方事務所を調整し（監視・地方統計管理課）、そして国際協力、予算・財務、内部用物品調達、および統計の出版・提供を行う。この部はまた、文書化、文書保存、図書館運営、および研修を所管している。
- ・ 人口・社会統計部は、国民の社会福祉、健康、教育、科学、居住、光熱・水道事業、宗教施設、犯罪等に適切なあらゆる統計を作成し、家計・生活水準計測調査、再生産健康調査、労働力・賃金調査、および人口住宅センサスを実施する。

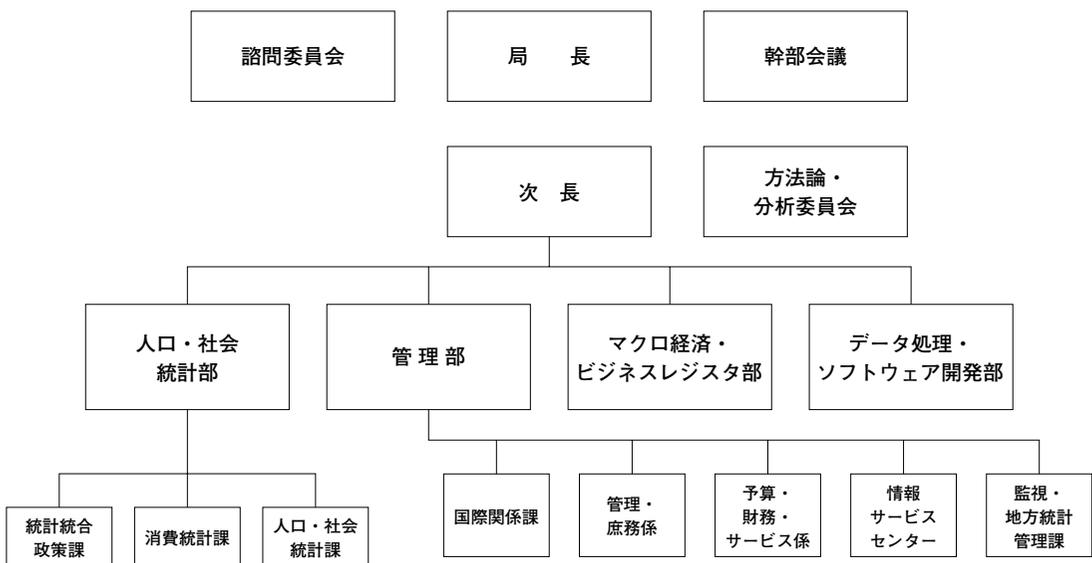
・ マクロ経済・ビジネスレジスタ部は、SNA、マクロ経済推計・調査・予測、統計的方法論・基準・分類、ビジネスレジスタ、ビジネス統計データ、物価統計・購買力国際比較プログラムを所管する。この部はまた、国際基準および方法論の適用に責任を持ち、経済センサスを実施する。

・ データ処理・ソフトウェア開発部は、ハード・ソフトの開発・維持、各種データ源から得られたデータの処理、ネットワーク、技術供与・サービス、データベース・レジスタ等を所管する。

②地方事務所

モンゴルの行政区画は、21の県と首都ウランバートル、さらに分ければ、9の区と1,681の村／市部の区から成る。県および区はそれ

NSOの組織図



ぞれ統計課を持ち、ウランバートルは統計部を持つ。地方事務所は、経常調査のためのデータ収集に責任を持つ。各村／区の分区は、当該地域の基本的な人口データ、経済活動データ、労働力、価格などのデータを取集する。

③統計諮問委員会

国家統計諮問委員会は統計の事項に関するNSOに対する諮問機関である。委員会の主要任務は、我が国における統計活動の調整について助言・支持することである。

(4) 職員数

NSOは合計270名の正規職員を持つ。そのうち、70名はNSO中央で勤務し、40名は首都の統計部の職員であり、160名は県および区の課で勤務している。

約64%の職員は女性で、職員の大半は大学教育を受けている。大学教育を受けた者の割合は、NSO中央の方が県事務所よりも高い。

(5) 国際協力

NSOは1990年以降、多くの国際機関および外国と協力している。それら機関や国との協力が進んだ結果、NSOの能力強化のため統計の種々の分野で技術支援を受けることになった。アジア開発銀行（ADB）は、国際基準の適用と順守、そして社会統計の改善の面で技術支援を行った。世界銀行（WB）および国際通貨基金（IMF）は、国民経済計算と消費者物価指数をさらに改善することを支援した。食糧農業機構（FAO）は、農業に関する経済勘定の構築を支援した。欧州統計局（EUROSTAT）は、国民経済計算、ビジネス統計、農業統計、

提供・出版を支援した。国連人口活動基金（UNFPA）は、社会・人口統計の改善、そして2000年人口住宅センサス実施を支援した。国連児童基金（UNICEF）は、社会統計の改善に支援を行った。国連アジア太平洋統計研修所（UNSIAP）を含め、国際機関は、統計職員の研修に多大な支持を行っている。現在、NSOはEUROSTATとUNFPAによる技術支援プロジェクトで作業を行っている。これらの結果、NSOはその統計能力の発展・強化において多大な進展を見た。国際基準、定義、概念、そして方法論は広く使われている。NSOの技術的基盤は大いに改善を見た。

(6) 情報技術

モンゴルNSOは、メインフレーム指向の作成過程からPC中心の方法に完全な切り替えをしなければならなかった。

現在、NSOの統計職員は皆、MS Windows 2000/XP、MS Office/97/2000/XP、NIS SQL Server 2000、MS Visual Basic、Studio等を備えたPCを1台持っている。統計調査とセンサスのデータ処理に使われているソフトとしては、SAS、SPSS、STATA、PageMaker、Clipper、ArcView、IMPS、NAV、GISが挙げられる。さらに、NSO職員は、家計調査、子ども開発調査、人口住宅センサス、企業センサス、工業・農業・家事サービス・労働力調査のデータ処理のためのソフトを開発した。データベースとWEBサイトのためのOSとしてはWindows NT4.0/2000が使われている。

NSOと地方事務所のどのコンピュータもLANに接続し、LANを通じてインターネットに接続している。

(7) ビジネスレジスタ

統計の仕事の上で重要な役割を果たす道具としての行政的ビジネスレジスタの設置は1994年に始められた。1997年からこの開発は、EUROSTATの「CIS諸国のための技術支援の枠組み」の下で、オランダによって支援されている。これは主として税務登録から取られる法的単位を含んでいる。ビジネスレジスタは、すべての調査で標本抽出と企業リスト作成のために使われる。すべての単位はISICのモンゴル版に従って分類されている。

3. NSOの現在の活動

(1) 国民経済計算

モンゴルの国民経済計算は1993 SNAに基づいている。1994年以降、NSOはGDPを現在および不変価格で推計している。GDPの主要な情報源は、当該年の合計産出、中間消費および付加価値の推計値である。これらの推計値の計算は企業および事業所の公的情報および報告に基づく。1994年に始まった支出接近法によるGDP推計に加え、1995-2000年のGDP推計値が1993 SNAに整合するように改定され一新された。1998年以降、NSOは四半期GDPを作成している。1995-2000年に対する試験的の四半期GDPについて季節調整が行われた。対前四半期成長率も作成されている。

金融勘定を除き、すべての勘定は部門別に現在価格と前年価格で推計されている。また、農業および工業の主要生産物別の財・サービス勘定が開発されている。

産業連関表は1999、2003年に試験的に国民経済計算の方法論に整合的に初めて作成され

た。供給・使用表は1997、1999、2002年に作成された。

(2) 外国貿易統計

毎月、NSOは外国貿易統計を国別および主要商品別にHSを使って公表する。主要な情報源は税関申告書である。貿易統計は国連の貿易統計の概念および方法論を使って作成される。

(3) 工業統計

工業統計作成のため、NSOは次のような8種類の調査票を使って企業からデータを取集する。すなわち、月次調査としては、工業生産、電力需給、熱エネルギー需給、石炭需給があり、四半期別標本調査としては、工業生産の価額および費用、主要工業製品の生産者価格があり、年次調査としては工業経営体の活動がある。工業の経済指標としては、雇用および賃金データ、生産の支出、価額、および数量、工業製品の売り上げ、その他種々の財務指標が出される。NSOは工業産出の月次指数を不変価格で公表している。

(4) 建設統計

建設統計は四半期別、および年次別に作成される。データ取集のための調査票はISICに整合している。統計は四半期別、年次別報告書に含まれる。

情報としては、建設の種類および目的別建設工事、費用、利益、雇用者数、賃金、および主な建築材料の価格がある。これらのデータはまた、建設部門の合計産出および付加価値を作成するために使われる。

(5) 小売・卸売統計

主要指標は、合計収入、参照期間内の販売財の価額、雇用者数、および詳細な支出である。

(6) 運輸統計

運輸部門は4つの下位部門から成る。すなわち、道路輸送、鉄道輸送、航空機輸送、および水上輸送である。NSOは、年に1度、貨物および乗客の回転率、貨物および乗客の取扱量、貨物および乗客に対する国際サービス、雇用者数および収入に関する統計を作成・公表する。

(7) 通信

NSOは、種々の通信媒体に関する統計を作成・公表する。指標としては、合計収入、公衆からの収入、電話および有線ラジオ局の数、雇用者数および労働生産性である。

(8) 人口・社会統計

年次人口データ推計データは、在住人口、人口動態、および人口移動に基づいている。首都、県、村、および区別人口および世帯数は、各年末に収集される。人口動態統計は、しかし、年に2度収集される。NSOは貧困統計を作成・公表している。また、雇用統計については、家計調査と事業所調査とから、2種類の報告書を作成・公表している。

・月次失業報告書：年齢、男女および教育別失業者数

・年次労働力報告：調査は、男女、年齢階級、

経済活動別雇用者数、失業の理由別失業者数、身体障害者数、および労働年齢の学生数などの主要な雇用指標を収集する。

(9) 農業

農業は、我が国の経済において重要な役割を果たし、GDPの25%以上を占めている。

・家畜：1924年以降、統計局は家畜センサスを実施してきている。NSOは毎年家畜センサスを実施している。センサス結果は、牧畜業の産出と費用を推計するために使われる。また、農家の生活条件を研究するために使われる。

・作物生産：農業生産に従事する事業所、企業および世帯から、作付けおよび取り入れ面積を、年2度、すなわち5-7月と8-12月に収集する。作物生産の主要収穫物は、穀物、馬鈴薯、野菜、および飼料である。作付け面積および合計取り入れ収穫率は、全国および県レベルで推計される。

4. おわりに

中央計画経済から市場経済への移行は、政府統計を含め、社会のあらゆる面に影響を与えた。それは、旧統計システムが民主的社会および市場経済の必要を満たすシステムに転換することを要求した。

移行期間に得られた経験の示すところは、国家統計システムの転換と改革は困難を伴うということであり、なお前途道遠である。NSOが今日、直面している困難は以下のように要約することができる。

- ・ 新しい必要を満たすための挑戦は古い慣行と衝突する。
- ・ 金銭的、物質的、そして技術的資源、および熟練職員の不足のため、NSOは十分にその機能を果たすことを制限された。
- ・ 回答者の協力度が中央計画経済のときに比べて低下した。
- ・ データ収集と作成のための費用は常に増加し、データの質は低下している。
- ・ NSOを含め、政府機関によるデータ収集が相当程度重複している。データ収集活動は、重複と報告負担を減らし、資源の効率と効果を高め、政府統計の質を向上させるために、綿密に調整される必要がある。
- ・ 同時に、深刻な裂け目がまだ存在している。すなわち、モンゴルの社会経済状況の複雑な分析のために必要な統計指標が欠如している。

モンゴル国家統計局外観



翻訳：(財)統計情報研究開発センター
専務理事 伊藤 彰彦